

投稿年月日	平成 30 年 11 月 21 日	投稿者	北有馬中学校 3 年生
ご意見・ご提案 内 容	<p>【「移住」活性化プラン】</p> <p>私たちは、社会科の地方自治の授業で「将来的によりよい南島原市をつくるための移住活性化プラン」として、「市が農業塾をつくり、市外から研修生を募集する」を提案します。</p> <p>具体的なメリットとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農業生活をしたい人に、安価で農業の技術を教えられる。</li> <li>②移住者が増え、南島原市のよさを知ってもらえる。</li> <li>②耕作放棄地の活用</li> <li>③市内の高齢農家の人手不足解消</li> <li>④市内農家のトラクターなどの機械の活用</li> <li>⑤講師である市内農家の活性化</li> <li>⑥農業技術の継承と後継者不足の解消</li> <li>⑦研修生への空き家の提供</li> </ul> <p>また、移住した人に、「市内温泉の 3 年間無料パス」「空き家を購入した人には、田畑や農業機械の無料譲渡」などの特典をあたえると、PR 効果も大きいのではと考えました。</p> <p>さらに、以下のような「移住活性化プラン」の意見もありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①年間 4 回程度の「魚釣り大会」を開催することで、市外の人を南島原市の新鮮な魚の虜にする。開催期間を長くしたり、下見に来ることで、滞在期間を長くし、南島原のよさを感じてもらう。</li> <li>②耕作放棄地に「ひまわりアート」をし、南島原市の PR をし、人を呼び込む。</li> <li>③南島原市の自然をいかした、大規模な「アスレチック公園」をつくる。</li> <li>④南島原市の自然をいかした、「星空キャンプ」の開催。</li> <li>⑤廃校を活用した「動物愛護施設」をつくる。ドッグラン、猫カフェなど。</li> <li>⑥空き家に、美術家や芸術家を呼び、作品で南島原市を PR してもらう。</li> </ul> <p>南島原市の人口は年々減少しており、この人口減少に少しでもブレーキをかけられるよう、都会にはない、南島原市の魅力に気づき、これからも発信していけたらと考えています。</p>		
回 答	<p>この度は、「移住」活性化プランのご提案、ありがとうございます。南島原市の将来を担う中学生の皆さんの、市に対する高い意識や考えを知ることができ、大変、心強く思います。</p>		

(市が農業塾をつくり、市外から研修生を募集する)

ご提案いただいた「市が農業塾をつくり、市外から研修生を募集する」について、大変、興味深く拝見させていただきました。島原半島は、その形から日本の胃袋にも例えられる農業産地です。その中で、本市は半島の底を支える位置にあり、農業を基幹産業の1つとしています。

ご提案内容は、基幹産業の農業を活かしたもので、本市の特色を生かした施策だといえます。

「農業塾」について調べてみると、他自治体や民間業者が既に取り組んでいるようです。本市においては、市が主導する取り組みではないですが、農業法人が就農希望者向けの研修を実施しています。「農業塾」は研修する場所があって成り立つ事業なので、引き続き、就農を希望される方に、市内農業法人の研修制度をご紹介する方法を採っていきたいと考えております。

また、移住した人に、「市内温泉の3年間無料パス」「空き家を購入した人には、田畑や農業機械の無料譲渡」などの特典を与えるというご提案については、市民との平等性などを踏まえて、今後の参考にさせていただきます。

(その他の「移住活性化プラン」について)

いずれも間接的に移住に繋がるご提案として、拝見させていただきました。

①年間4回程度の「魚釣り大会」を開催することで、市外の人を南島原市の新鮮な魚の虜にする。開催期間を長くしたり、下見に来ることで、滞在期間を長くし、南島原のよさを感じてもらおう。

(回答) 既に南島原ひまわり観光協会が年に数回、鯛釣り大会を実施しています。手法としては、本大会の拡充などが考えられるかと思います。

②耕作放棄地に「ひまわりアート」をし、南島原市のPRをし、人を呼び込む。

(回答) 市の花「ひまわり」の普及については、市も取り組んでいるところです。参考にさせていただきます。

③南島原市の自然をいかした、大規模な「アスレチック公園」をつくる。

④南島原市の自然をいかした、「星空キャンプ」の開催。

(回答) ③④については、エコ・パーク論所原と連携すると面白い取り組みができるかもしれません。参考にさせていただきます。

⑤廃校を活用した「動物愛護施設」をつくる。ドッグラン、猫カフェ

	<p>エなど。</p> <p>(回答) 廃校活用の手法の1つとして参考にさせていただきます。</p> <p>⑥空き家に、美術家や芸術家を呼び、作品で南島原市をPRしてもらおう。</p> <p>(回答) 本市は平和祈念像を制作した北村西望翁の生誕の地です。本市では、旧白木野小学校にアーティストを招いて、文化芸術を核とした地域交流拠点施設「南島原市アートビレッジ・シラキノ」の運用を、平成30年9月に始めました。本事業から派生する事業として実現が可能かもしれません。</p> <p>この度は、貴重なご提案、ありがとうございました。</p>
<p>担当課</p>	<p>企画振興課</p>